

第3学年*組普通科 学習指導案

指導者 教諭 宮本 脩平

1 単元名

Lesson 6 Natural Treasures of Ogasawara
All Aboard! Communication English III (東京書籍)

2 「CAN-DO リスト」学習到達目標 (卒業時)

話すこと (発表)	話すこと (やりとり)	書くこと	聞くこと	読むこと
抑揚をつけながら相手に効果的に伝わるよう、工夫して自分の主張を含んだ内容を1分程度話すことができる。	日常的な話題について、相手の意見を聞いてそれを元に質問したり自分の意見を述べたりすることができる。	具体例や理由を挙げながら自分の主張を書くことができる。	日常生活の簡単な説明文やアナウンスを聞いて必要な情報を聞き取ることができる。	簡単な説明文や実用的な文章を読んで要点や詳細を理解することができる。

3 単元の目標

地理的条件や動植物の生態環境などから、小笠原諸島が世界遺産に登録された理由を考える。また、例を挙げながら相手に分かりやすい文章で表現できるようにする。

4 単元について

(1) 教材観

東京都の一部でありながら、都心から遠く離れた太平洋上にある小笠原諸島は、独自の進化を遂げた動植物の楽園となっている。小笠原諸島の地理的条件や交通事情、動植物の生態環境を通して、「東洋のガラパゴス」と呼ばれ、世界遺産に登録された理由を導き出したい。また、世界遺産について調査をし、登録理由や魅力などについて表現できるよう指導したい。

(2) 生徒観

本学級は、男子*人女子*人の普通科クラスである。事前調査を行ったところ、*割以上の生徒が「英語が苦手」と答えており、特に「Speaking」、「Writing」の発信応力に関する技能に対する苦手意識が高い。その一方、毎日のペアワークや音読活動には積極的に取り組む姿勢が見られ、全体的に授業に関する関心も高い。また、クラスの傾向として、自分が考えたことに対して、表現することが難しいと感じる生徒が多いことが挙げられる。本単元を通して、思いや疑問を表現できるよう指導したい。

(3) 指導観

Input 活動時には毎回ペアワークを行い、ペアで課題解決を行う授業を展開する。長い文章であるが、情報を読み取り、表の形にして内容をまとめることによって、キーワード・キーセンテンスをつかむことを定着させたい。本単元の Output 活動においては、クラスメイトの興味を引くポスター作りをグループで行う。Input 活動によって学習した内容をもとに、発信する活動へとスムーズにつなげたい。

(4) ICT活用

1学年時から Google Classroom を使用して授業を行っている学年であり、*割以上の生徒が「コンピュータを使った学習がわかりやすい」と回答している。Chromebook を使用して課題を作成することで、文章を何度も練り直すことができる。また、Google Classroom では、共同編集作業をオンラインで行ったり、級友の意見を参考にしたりすることで、表現への自信をつけさせたい。

5 指導と評価の計画 (10 時間扱い)

時	学習内容及び学習の流れ	評価の観点				評価規準 (評価方法)
		関	表	理	知	
毎時	・単語クイズ (第1時～第5時) ・英作文テスト (第6時～第9時)				○	・新出単語を正しく発音できる。 ・正しい英文を書くことができる。(ワークシート)
1	Part 1・2 ・新出単語の理解・本文予測 ・本文 Listening 本文 Listening を行い, 本文内容のキーワードの確認	◎				・新出単語を正しく発音できている。(観察・ペアワーク) ・本文内容を予測しながら, 本文内容を聞くことができる。(ワークシート)
2	Part 1・2 ・本文内容の理解, 音読 本文読解後, 正誤問題を解き, 音読活動を行う。	○		○	◎	・文章を正しく読み取ることができる。(ワークシート) ・ペアで協力し合って, 音読活動を行うことができる。(観察)
3	Part 1・2 ・読解問題, 概要把握 本文内容に即した読解問題を解き, 読んだ内容のあらすじを表にまとめる。 Part 3・4 ・新出単語・本文予測	○		○	◎	・読解問題を通じて, 複雑な英文を文法的に説明することができる。(ワークシート) ・新出単語を正しく発音できている。(観察・ペアワーク)
4 5	Part 3・4 ・読解問題, 概要把握	○		○	◎	・第3時と評価基準は同じ (観察・ワークシート)
6	・See-Think-Wonder 練習 ・主張の構成 他者に勧めたい世界遺産を選び, 見てほしいポイントを考える。また, それを示す写真を選ぶ。	○		◎		・絵や写真を見て, 正しい文を書くことができる。(ワークシート)
7 本時	・世界遺産ポスター作り① 主張と一致する写真を選び, 級友と共有する。級友に, 写真に対するコメントを入れてもらう。	○	◎		○	・絵や写真を見て, 正しい文を書くことができる。
8	・世界遺産ポスター作り② 級友に見てほしい世界遺産に関し, 主張を提示し, その理由と例をピラミッドチャートにまとめる。	○	◎		○	・写真の魅力を, 正しい文で書くことができる。 ・主張をサポートする理由と例の文を作成することができる。
9	・世界遺産ポスター作り③ ピラミッドチャートを基に, OREO とディスコースマーカーを使用しポスターを作成する。	○	◎			・学習した表現を使用して, 原稿を作成することができる。 ・OREO の型に沿って, 適切なディスコースマーカーを使用している。
10	・世界遺産ポスターセッション 級友の作品を, OREO に意識を置きながら評価する。	○	◎			・OREO の型を意識しながら, 級友の作品を読むことができる。

6 本時の目標

(1) 目標

- 自分の伝えたい世界遺産や主張を、理由を挙げながら具体的に説明することができる。
(外国語表現の能力)

(2) 準備・資料

ワークシート, Chromebook, プロジェクター

7 展 開

	学習活動及び内容 (☆ ICT 活用)	時間	指導上の留意点 (◎評価)
導 入	1. Greeting 2. 英作文テスト ○ 準備時間5分のあと、本文表現の作文テストを行う。	10分	・1問あたり20秒平均で書けるように指示する。終わり次第、各自答え合わせを行う。
展 開 ①	3. 本時の課題の共有 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;">自分の主張とスライドの主張を一致させよう！</div> 4. 自分の主張を整理する ☆ ピラミッドチャートを使用し、自分の主張に対する理由と根拠を整理する。 (Google スライド使用)	15分	・「主張」には「理由」と「根拠」が必要だということを意識させる。 ・「主張」欄は英語で書くことを基本とするが、「理由」欄と「根拠」欄に関しては、日本語で記入しても構わない(次時で英語に直す)。
展 開 ②	5. ポスターセッション ポスター作成準備 ☆ 「主張」とそれに対するスライドが一致しているかの確認、訂正を行う。 (Google スライド使用, 個人作業5分) ☆ ペアでお互いのスライドを確認し、「See-Think-Wonder」を書き込む。 (Google スライド使用, ペア活動12分) ☆ クラスメイトが出した「疑問」と、自分のスライドでの「主張」が一致しているか確認し、スライドの訂正を行う。 (Google スライド使用, 個人作業3分)	20分	・「See-Think-Wonder」の表現を意識しながら、疑問に思うことを書きこませる。 ・自分のスライドにコメントされた疑問点と自分の主張が一致しているかを再確認させる。 ◎ 自分の伝えたい世界遺産や主張を、理由を挙げながら具体的に説明することができる。 (Google Classroom)
ま と め	6. 振り返り ☆ 自分の主張と作成したスライドが一致していたかを振り返る。 (Google フォーム使用)	5分	・ペアワークに対する教師からの評価・アドバイスを入れる。 ・次時への見通しを立てる。